



三星の風

第33号
平成21年
3月12日
鹿児島県立
鹿屋高等学校

自分の信ずる道を進む三星健児に

三百十三人が巣立った第六十一回卒業式

三月二日、第六十一回卒業式が挙行されました。六十一期生の三百十三人が学び舎を巣立っていきました。男子百六十九人、女子百四十四人の卒業生は、みんな晴れやかな表情で懸命に努力した高校生活を振り返りながらも、これからの上級学校での勉学や実社会での仕事への決意に燃えていました。

大迫勝次校長は式辞の中で、「本校で学んだことに誇りを持ち、常に自ら考え、困難に挑戦し、絶えず自己変革に努め、主体的・創造的に問題の解決に当たり、誠実に謙虚に、しかもグローバルな発想で、自分の信ずる道を進んでほしい。」と果敢に立ち向かうよう

励ましました。

また、萩原眞澄PTA会長は、「自分の夢を持ち続け、実現への努力を惜しまずに、三星健児として学んだ『柔軟な思考力』で、知識を行動力に変えて、人生を切り拓け。」と先輩としての言葉も交えて激励されました。送辞や答辞にも、同じ三星健児の意気込みが感じられました。式後の最後のHRでは、各自がその思いを述べ合っており、和やかな中にも互いの努力を称えました。卒業生全員が、当日の晴天のように晴れやかな表情で母校を後にしました。



街をきれいにして感謝の心を育む

2月24日(火)学年末考査最終日に、1学年生徒による奉仕活動(ボランティア清掃)が行われました。いつもお世話になっている地域への貢献活動として、325人の1年生が頑張りました。鹿屋市中心部の向江町・朝日町から学校周辺の白崎町までの広い範囲を、清掃やごみ拾いを中心に取り組みました。

参加する中で、思いの外にたばこの吸い殻の散乱ぶりに驚いた様子でした。生徒たちは清掃をしながら、散らさない汚さない行動が街の環境をよくすることにつながることを学びました。



三・四月の主な行事予定

三月

- 一六日(月) 合格者集合
- 一九日(木) クラスマッチ
- 二五日(水) 終業式
- 二六日(木) 学年末休業〔二・三二日〕
- 二七日(金) 離任式

四月

- 一日(水) 学年始休業〔二・五二日〕
- 六日(月) 新任式 始業式
入学式準備
- 七日(火) 入学式
- 八日(水) 実力考査(二・三年)〔二・九日〕
- 九日(木) 対面式
内科検診(二年)
- 一〇日(金) 新生生テスト(二年)
- 〃 〃 心臓検診(二年)
- 一三日(月) 尿検査一次〔二・四日〕
- 一四日(火) 内科検診(三年)
- 一五日(水) 歯科検診
- 一六日(木) 内科検診(二年)
- 二〇日(月) 尿検査一次〔二・二二日〕
- 二二日(水) 宿泊学習(二年)〔二・二四日〕
- 二四日(金) 一日遠足(二・三年)

※ 都合によって変更・追加される場合があります。
※ 詳細は学校にお問い合わせください。

毎月発行するこの「三星の風」は、鹿屋高校のホームページにも掲載されています。

http://www.edu.prf.kagoshima.jp/sh/kanoya/ 「鹿屋高等学校」でも検索できます。

うれしいニュース・最新版

2月25日(水)

「PTA便り」が県で最優秀賞

平成20年度鹿児島県PTA広報紙コンクールで、「鹿屋高校PTA便り」が高等学校の21点中、最優秀賞を獲得しました。広報部の皆さんの努力が報われました。

なお、鹿屋市PTA広報紙コンクールでも高校の部で最優秀賞となり、ダブル受賞の栄冠を達成しました。

うれしいニュース・最新版

2月26日(木)

吉井淳二記念展で特別賞

曾於市長賞 田淵恵理 (2年 鹿屋東中出身)
作品名「輪廻～the wheel of life～」

田淵さんが受賞した曾於市長賞は、最高賞の吉井賞に次ぐ準大賞です。本校の芸術関係の部活動の今後の活躍が大いに期待されます。

なお、同展には、田淵さん以外に本校の美術部員5人が入選しました。

うれしいニュース・最新版

2月12日(木)

**森菌敏博先生 (本校薬剤師)
学校保健功労者表彰**

本校の薬剤師として、30年間にわたり生徒の健康や学校の保健衛生に活躍・貢献されておられる森菌敏博先生が、県学校保健会長から学校保健功労により個人表彰されました。

県内での個人表彰13人のうちのお一人でした。おめでとうございます。

うれしいニュース・最新版

2月21日(土)

図書券の寄贈

「三星会鹿児島支部同窓会・総会」が開催され、後輩たちの読書活動の推進に役立つように、5万円の図書券をお贈りいただきました。早速、図書館で新刊を購入させていただき活用しています。生徒の図書委員たちも喜んでいました。この場を借りて感謝申し上げます。

学校関係者評価 (主なもの)

学校関係者評価とは、本校内で行われる自己評価(生徒・教職員)を元にして、保護者や地域住民・中学校関係者等の代表の方々を委員(5人)として依頼して、本校の重点目標について評価していただく制度です。評価を実施することで、学校の組織的・継続的な改善、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくり、学校の教育水準の向上等を目指しています。本年度は、第1回が7月10日(木)に、第2回が2月13日(金)に開かれました。

評価項目 (重点目標)	評価	委員からの要望等
1 教育活動の効率化・円滑化の促進のための連携強化・共通理解	3.0	・在学時の保護者満足度が大変高いので、学業・生活両面の充実が望まれる。
2 授業参観や公開授業による教科指導力や授業内容の向上	3.2	・個別の対応、指導法の改善、予習・復習の充実等に改善の余地あり。
3 主体的な学習への援助と自己実現のための進路学習	3.0	・生徒の科目成績への自己評価が低いので、自信をもたせてほしい。 ・生徒のモチベーションが向上しているかを知りたい。
4 基本的な生活習慣(服装容儀・登下校時刻)の確立・促進	3.2	・生活面に関して、生徒の自己評価を実施したらどうか。 ・「生き方・在り方」「人間の生き様」に気付かせるべき。
5 生命尊重への理解と健康・安全への日常的実践	2.8	・この項目についても、生徒実施の評価があってもよい。
6 学校環境の美化・緑化の推進	3.0	・ボランティア活動とともに、インターアクト活動の取組を継続・発展させてほしい。
7 その他	—	・4段階評価に苦勞するので、評価の機会提供、方法について検討・工夫してほしい。

※ 評価は4段階評価。

※ 評価基準；4＝十分評価できる 3＝おおむね評価できる 2＝あまり評価できない 1＝ほとんど評価できない